

# **S 形埋込み形照明器具 型式評定申請書作成マニュアル**

2018年10月1日 制定

2024年4月1日 改正

# S形埋込み形照明器具 型式評定申請書作成マニュアル

## 目次

	ページ
1	S形埋込み形照明器具型式評定申請書類の構成・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2	各書類の詳細について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2.1	埋込み形照明器具自主評定申請一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2.2	埋込み形照明器具自主評定申請書・更新申請書・・・・・・・・・・・・・・ 4
2.3	試験成績書（様式8）、温度試験成績書（様式9）・・・・・・・・・・・・ 5
2.3.1	試験成績書（様式8）、温度試験成績書（様式9）の選び方・・・・・・・・ 5
2.3.2	試験成績書（様式8）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
2.3.3	温度試験成績書（様式9）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
2.3.4	温度（通常動作）試験結果（レコーダー記録）・・・・・・・・・・・・・・ 12
2.3.5	巻線温度測定結果（グラフ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
2.3.6	電子回路ブロックの部品、ランプの仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
2.4	器具図面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
2.4.1	主要部品一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
2.4.2	器具図面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
2.4.3	表示ラベル一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
2.5	取扱説明書（施工説明書も含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

## 1 S 形埋込み形照明器具型式評定申請書類の構成

型式評定申請時の書類は、次による。なお、**a)～f)**の順にまとめる。

**a), b), c), d)の 2)～4), e)の 1)及び g)**の書式については、JLMA ホームページからダウンロードする。

**a)** 埋込み形照明器具自主評定申請一覧表（複数件申請の場合 1 通のみ）

**b)** 申請書

1) 【新規登録の場合】埋込み形照明器具自主評定申請書（様式 3）

2) 【更新申請の場合】埋込み形照明器具自主評定更新申請書（様式 4）

**c)** 試験成績書（様式 8）

**d)** 器具図面

1) 器具図面

2) 主要部品一覧表（様式 10）

3) 表示ラベル一覧表（様式 11）

4) 表示ラベル貼付け位置図（様式 11）

**e)** 温度試験成績書

1) 温度試験成績書（様式 9）

2) 温度試験記録（レコーダー記録）

3) 【巻線、変圧器があり抵抗法で測定した場合】巻線温度試験測定結果

※傾斜状態での試験成績書がある場合、“通常状態（水平天井取付）”で上記**1)～3)**をまとめ、次に“傾斜状態”で上記**1)～3)**をまとめる。

4) 【電子回路ブロック搭載の場合】電解コンデンサ仕様書またはカタログの写し

フィルムコンデンサ仕様書またはカタログの写し

5) 【点灯回路ブロック搭載のランプ搭載の場合】ランプ仕様書（ランプ製造業者が指定した測定点の温度限度値を示すもの）の写し

**f)** 取扱説明書

**g)** 取扱説明書記載事項チェック表（様式 12）

## 2 各書類の詳細について

### 2.1 埋込み形照明器具自主評定申請一覧表

型式評定登録申請する内容を図 1 に示す様式に必要事項を記入する。

埋込み形照明器具自主評定申請一覧表				
年 月 日				
一般社団法人 日本照明工業会 会長 殿				
(住所)				
申請者： 名 姓				
代表者 名 姓				
印				
下記により埋込み形照明器具の自主評定を申請します。				
記				
1. 自主評定申請件数 件				
2. 型式評定内訳				
No.	種 類	申請内容		製造者型式
		新規	更新 評定更新	
(記載欄不足の場合、追加用紙にて記載して下さい。)				

図 1—埋込み形照明器具自主評定申請一覧表

## 2.2 埋込み形照明器具自主評定申請書・更新申請書

型式ごとに、新規申請の場合は様式 3 (図 2) に、新規申請の場合は様式 4 (図 3) に示す様式に必要事項を記入する。

様式 3	
埋込み形照明器具自主評定申請書	
年 月 日	
一般社団法人 日本照明工業会 会長 殿	
(住所)	
申請者： 名 姓	
(会社名及び代表者氏名)	
印	
埋込み形照明器具の自主評定に関する規則により型式評定を受けたいので、次のとおり申請いたします。	
1. 事業者登録年月日及び登録番号： 【登録年月日】： 年 月 日 【登録番号】：	
2. 申請の型式区分及び当該製品の試験成績書：別添（様式 8 による。） （温度（通常動作）についての記録温度計によるレコーダ記録（検データ）を含む。）	
3. 当該製品の図面又はそれと同等のもの：別添（製作図面、蒙図又は写真） （本体表示マーク（S形である旨及び注意表示）の予定位置を記入する。）	
4. 取扱説明書：取扱説明書又はその案	

図 2—埋込み形照明器具自主評定申請書（様式 3）

様式 4	
埋込み形照明器具自主評定更新申請書	
年 月 日	
一般社団法人 日本照明工業会 会長 殿	
(住所)	
申請者： 名 姓	
(会社名及び代表者氏名)	
印	
埋込み形照明器具の自主評定に関する規則により評定更新を受けたいので、次のとおり申請いたします。	
1. 事業者登録年月日及び登録番号： 【登録年月日】： 年 月 日 【登録番号】：	
2. 更新を受けようとする評定番号及び有効期限： 【評定番号】： 【有効期限】：	
3. 申請の型式区分及び当該製品の試験成績書：別添（様式 8 による。）	
4. 当該製品の図面又はそれと同等のもの：別添（製作図面、蒙図又は写真）	

図 3—埋込み形照明器具自主評定更新申請書（様式 4）

## 2.3 試験成績書（様式 8）、温度試験成績書（様式 9）

### 2.3.1 試験成績書（様式 8）、温度試験成績書（様式 9）の選び方

図 4 に基づき様式を選択する。

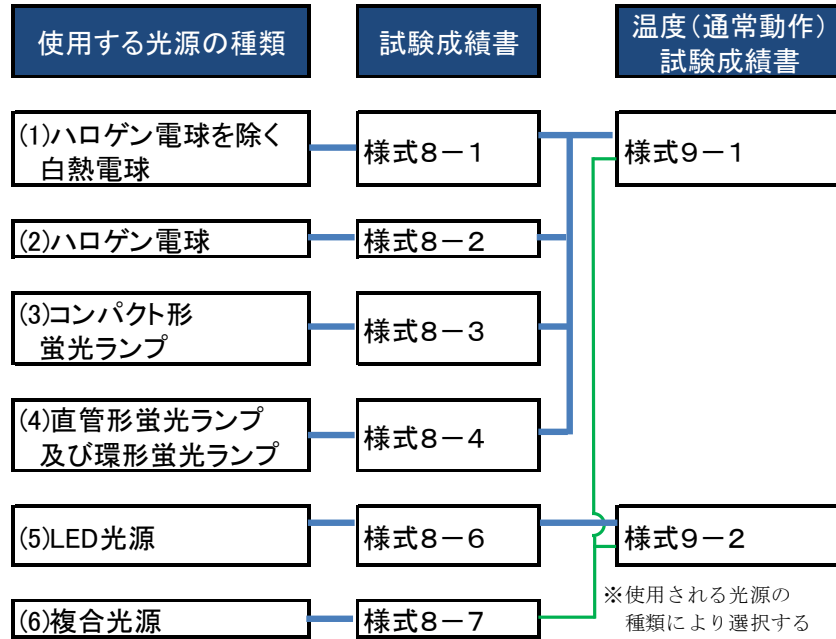


図 4ー試験成績書（様式 8），温度試験成績書（様式 9）の選び方

### 2.3.2 試験成績書（様式 8）

記入ガイドに従い，2.3.1 で選択した様式に記入する。

様式 8-6（LED 光源）のみ Excel 書式で，それ以外は Word 書式。

注）様式 8-6（LED 光源）用記入シートはデータはカラーであるが，提出時は網掛けを外し，モノクロ印刷で出力すること。

This section shows the submission and entry guide for Form 8. It includes a '提出用' (Submission) box, '様式 8' (Form 8) which is a detailed test report form, and a '記入ガイド' (Entry Guide) box. The entry guide contains instructions and diagrams for filling out the form.

図 5ー試験成績書（様式 8）と記入ガイド

### 2.3.3 温度試験成績書（様式 9）

a) 記入ガイド，以下の注記に従い，2.3.1 で選択した様式に記入する。

様式 9-2 (LED 光源) のみ Excel 書式で、それ以外は Word 書式。

注) 様式 9-2 (LED 光源) 用記入シートのデータはカラーであるが、網掛けを外し、提出時はモノクロ印刷で出力すること。

記入ガイド

記入ガイド (様式9-2 (LED光源) 13. 温度 (通常動作) (規格が2024\*\*\*\*) ver.1)

温度 (通常動作)  
様式9-2 (LED光源) については、表中の番号を参照のうえ、次のように記入する。  
なお、最終行は適用しない項目は「-」をリストから選択又は記入する。

- 1) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】温度試験用器具 1000
- 2) 試験時の電圧及び電流を記入する。【例】AC100V/100mA
- 3) 器具名(名称)・型式・電圧・電流を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 該当しない場合は、「-」を記入する。
- 4) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 5) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 6) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 7) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 8) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 9) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 10) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 11) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 12) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 13) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 14) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】
- 15) 器具名(名称)・型式等を記入する。【例】器具名(名称)・型式・電圧・電流(器具名(名称)・型式・電圧・電流)】

様式9-2 (LED光源) 13. 温度 (通常動作) (規格が2024\*\*\*\*)

項目	単位	備考
器具名	[E1]	
電圧	[E2]	
電流	[E3]	
器具名	[E4]	
器具名	[E5]	
器具名	[E6]	
器具名	[E7]	
器具名	[E8]	
器具名	[E9]	
器具名	[E10]	
器具名	[E11]	
器具名	[E12]	
器具名	[E13]	
器具名	[E14]	
器具名	[E15]	
器具名	[E16]	
器具名	[E17]	
器具名	[E18]	
器具名	[E19]	
器具名	[E20]	
器具名	[E21]	
器具名	[E22]	
器具名	[E23]	
器具名	[E24]	
器具名	[E25]	
器具名	[E26]	
器具名	[E27]	
器具名	[E28]	
器具名	[E29]	
器具名	[E30]	
器具名	[E31]	
器具名	[E32]	
器具名	[E33]	
器具名	[E34]	
器具名	[E35]	
器具名	[E36]	
器具名	[E37]	
器具名	[E38]	
器具名	[E39]	
器具名	[E40]	
器具名	[E41]	
器具名	[E42]	
器具名	[E43]	
器具名	[E44]	
器具名	[E45]	
器具名	[E46]	
器具名	[E47]	
器具名	[E48]	
器具名	[E49]	
器具名	[E50]	
器具名	[E51]	
器具名	[E52]	
器具名	[E53]	
器具名	[E54]	
器具名	[E55]	
器具名	[E56]	
器具名	[E57]	
器具名	[E58]	
器具名	[E59]	
器具名	[E60]	
器具名	[E61]	
器具名	[E62]	
器具名	[E63]	
器具名	[E64]	
器具名	[E65]	
器具名	[E66]	
器具名	[E67]	
器具名	[E68]	
器具名	[E69]	
器具名	[E70]	
器具名	[E71]	
器具名	[E72]	
器具名	[E73]	
器具名	[E74]	
器具名	[E75]	
器具名	[E76]	
器具名	[E77]	
器具名	[E78]	
器具名	[E79]	
器具名	[E80]	
器具名	[E81]	
器具名	[E82]	
器具名	[E83]	
器具名	[E84]	
器具名	[E85]	
器具名	[E86]	
器具名	[E87]	
器具名	[E88]	
器具名	[E89]	
器具名	[E90]	
器具名	[E91]	
器具名	[E92]	
器具名	[E93]	
器具名	[E94]	
器具名	[E95]	
器具名	[E96]	
器具名	[E97]	
器具名	[E98]	
器具名	[E99]	
器具名	[E100]	

温度試験成績書 (様式9) (規格が2024\*\*\*\*) ver.1

項目	単位	備考	測定値			
			100℃	105℃	110℃	115℃
器具名	[E1]					
電圧	[E2]					
電流	[E3]					
器具名	[E4]					
器具名	[E5]					
器具名	[E6]					
器具名	[E7]					
器具名	[E8]					
器具名	[E9]					
器具名	[E10]					
器具名	[E11]					
器具名	[E12]					
器具名	[E13]					
器具名	[E14]					
器具名	[E15]					
器具名	[E16]					
器具名	[E17]					
器具名	[E18]					
器具名	[E19]					
器具名	[E20]					
器具名	[E21]					
器具名	[E22]					
器具名	[E23]					
器具名	[E24]					
器具名	[E25]					
器具名	[E26]					
器具名	[E27]					
器具名	[E28]					
器具名	[E29]					
器具名	[E30]					
器具名	[E31]					
器具名	[E32]					
器具名	[E33]					
器具名	[E34]					
器具名	[E35]					
器具名	[E36]					
器具名	[E37]					
器具名	[E38]					
器具名	[E39]					
器具名	[E40]					
器具名	[E41]					
器具名	[E42]					
器具名	[E43]					
器具名	[E44]					
器具名	[E45]					
器具名	[E46]					
器具名	[E47]					
器具名	[E48]					
器具名	[E49]					
器具名	[E50]					
器具名	[E51]					
器具名	[E52]					
器具名	[E53]					
器具名	[E54]					
器具名	[E55]					
器具名	[E56]					
器具名	[E57]					
器具名	[E58]					
器具名	[E59]					
器具名	[E60]					
器具名	[E61]					
器具名	[E62]					
器具名	[E63]					
器具名	[E64]					
器具名	[E65]					
器具名	[E66]					
器具名	[E67]					
器具名	[E68]					
器具名	[E69]					
器具名	[E70]					
器具名	[E71]					
器具名	[E72]					
器具名	[E73]					
器具名	[E74]					
器具名	[E75]					
器具名	[E76]					
器具名	[E77]					
器具名	[E78]					
器具名	[E79]					
器具名	[E80]					
器具名	[E81]					
器具名	[E82]					
器具名	[E83]					
器具名	[E84]					
器具名	[E85]					
器具名	[E86]					
器具名	[E87]					
器具名	[E88]					
器具名	[E89]					
器具名	[E90]					
器具名	[E91]					
器具名	[E92]					
器具名	[E93]					
器具名	[E94]					
器具名	[E95]					
器具名	[E96]					
器具名	[E97]					
器具名	[E98]					
器具名	[E99]					
器具名	[E100]					



提出用

様式 9

様式9-2 (LED光源) 13. 温度 (通常動作) (規格が2024\*\*\*\*)

項目	単位	備考
器具名	[E1]	
電圧	[E2]	
電流	[E3]	
器具名	[E4]	
器具名	[E5]	
器具名	[E6]	
器具名	[E7]	
器具名	[E8]	
器具名	[E9]	
器具名	[E10]	
器具名	[E11]	
器具名	[E12]	
器具名	[E13]	
器具名	[E14]	
器具名	[E15]	
器具名	[E16]	
器具名	[E17]	
器具名	[E18]	
器具名	[E19]	
器具名	[E20]	
器具名	[E21]	
器具名	[E22]	
器具名	[E23]	
器具名	[E24]	
器具名	[E25]	
器具名	[E26]	
器具名	[E27]	
器具名	[E28]	
器具名	[E29]	
器具名	[E30]	
器具名	[E31]	
器具名	[E32]	
器具名	[E33]	
器具名	[E34]	
器具名	[E35]	
器具名	[E36]	
器具名	[E37]	
器具名	[E38]	
器具名	[E39]	
器具名	[E40]	
器具名	[E41]	
器具名	[E42]	
器具名	[E43]	
器具名	[E44]	
器具名	[E45]	
器具名	[E46]	
器具名	[E47]	
器具名	[E48]	
器具名	[E49]	
器具名	[E50]	
器具名	[E51]	
器具名	[E52]	
器具名	[E53]	
器具名	[E54]	
器具名	[E55]	
器具名	[E56]	
器具名	[E57]	
器具名	[E58]	
器具名	[E59]	
器具名	[E60]	
器具名	[E61]	
器具名	[E62]	
器具名	[E63]	
器具名	[E64]	
器具名	[E65]	
器具名	[E66]	
器具名	[E67]	
器具名	[E68]	
器具名	[E69]	
器具名	[E70]	
器具名	[E71]	
器具名	[E72]	
器具名	[E73]	
器具名	[E74]	
器具名	[E75]	
器具名	[E76]	
器具名	[E77]	
器具名	[E78]	
器具名	[E79]	
器具名	[E80]	
器具名	[E81]	
器具名	[E82]	
器具名	[E83]	
器具名	[E84]	
器具名	[E85]	
器具名	[E86]	
器具名	[E87]	
器具名	[E88]	
器具名	[E89]	
器具名	[E90]	
器具名	[E91]	
器具名	[E92]	
器具名	[E93]	
器具名	[E94]	
器具名	[E95]	
器具名	[E96]	
器具名	[E97]	
器具名	[E98]	
器具名	[E99]	
器具名	[E100]	

温度試験成績書 (様式9) (規格が2024\*\*\*\*) ver.1

項目	単位	備考	測定値			
			100℃	105℃	110℃	115℃
器具名	[E1]					
電圧	[E2]					
電流	[E3]					
器具名	[E4]					
器具名	[E5]					
器具名	[E6]					
器具名	[E7]					
器具名	[E8]					
器具名	[E9]					
器具名	[E10]					
器具名	[E11]					
器具名	[E12]					
器具名	[E13]					
器具名	[E14]					
器具名	[E15]					
器具名	[E16]					
器具名	[E17]					
器具名	[E18]					
器具名	[E19]					
器具名	[E20]					
器具名	[E21]					
器具名	[E22]					
器具名	[E23]					
器具名	[E24]					
器具名	[E25]					
器具名	[E26]					
器具名	[E27]					
器具名	[E28]					
器具名	[E29]					
器具名	[E30]					
器具名	[E31]					
器具名	[E32]					
器具名	[E33]					
器具名	[E34]					
器具名	[E35]					
器具名	[E36]					
器具名	[E37]					
器具名	[E38]					
器具名	[E39]					
器具名	[E40]					
器具名	[E41]					
器具名	[E42]					
器具名	[E43]					
器具名	[E44]					

ランプの測定箇所を試験成績書に該当する番号を記入する。傾斜取付可能器具の場合は傾斜状態でも同様の記載をする。また、スペースが小さく記入できない場合は、別紙参照とし別紙を添付すること。

**温度試験成績書 指定箇所番号**

**記入ガイド**

**器具の取付方向や取付角度に制限がある場合は記載する。ない場合は、“取付方向指定なし”などと記載する。**

**傾斜状態**

傾斜方向 取付パネ

図 7-1 温度測定箇所の記入方法

## c) 端子台への電源線接続部の図示方法について

実際に接続されている状態が分かるように図示すること。

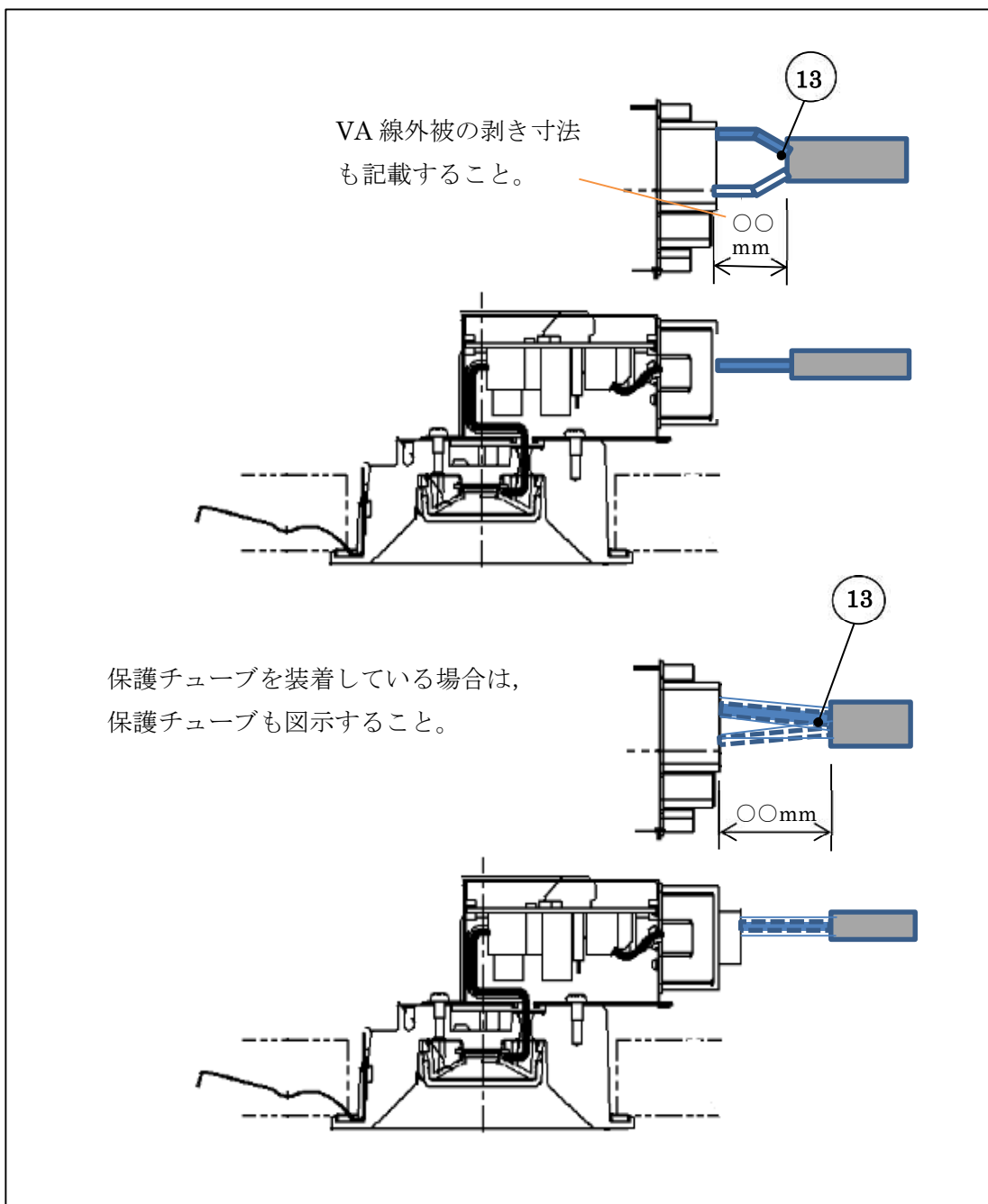


図 8—端子台への電源線接続部の図示方法



## d) 電子回路ブロックの部品配置図の図示方法について

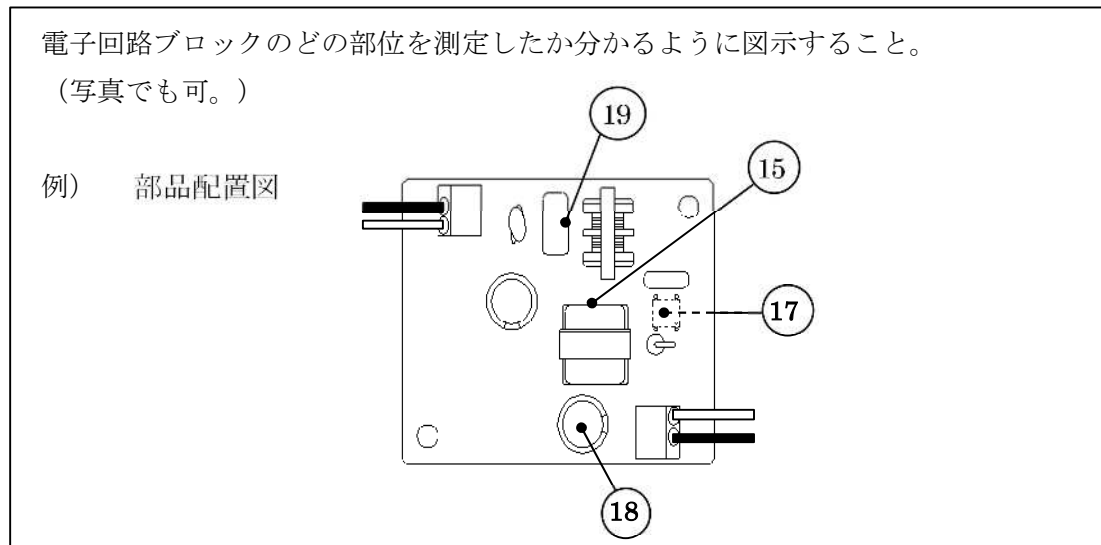


図9—電子回路ブロックの部品配置図の図示方法

## e) 点灯回路ブロック内蔵タイプのランプの図示方法について

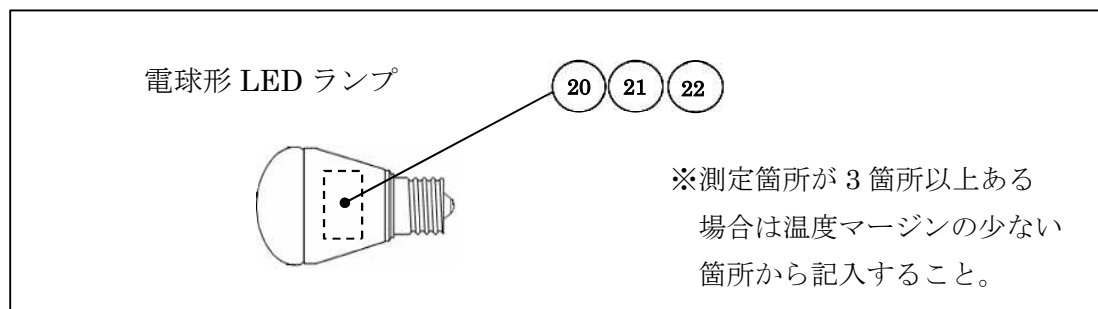


図10—点灯回路ブロック内蔵タイプのランプの図示方法

- f) ランプ仕様書などにおいて、JIL 5002 の表 2 の試験電圧以外の条件が指定されている場合は、温度試験成績書（様式 9）を 1 枚追加し、“電圧欄”に指定の電圧を記入，“ランプ製造業者が指定した測定点”以外の測定箇所は，“適用欄”，“測定値欄”及び“判定欄”に“—”を記入する。

(試験成績書 1 枚目)

試験条件 (通常/傾斜状態, 複合点灯状態)			通常状態(水平天井取付)						判定	
			複合点灯状態:							
電 圧			0.94倍		1.0倍		1.06倍			
			94.0 V		100.0 V		106.0 V			
器具入力電流(送り電流を差し引いた値)			*** A		*** A		*** A			
消 費 電 力			*** W		*** W		*** W			
測定箇所	温度限度 (℃)	適用	***℃	30.0℃	***℃	30.0℃	***℃	30.0℃		
			測定値	換算値	測定値	換算値	測定値	換算値		
1 人が容易にふれる 恐れのある部分	測定点1	金属製・陶磁器製 ・ガラス製のもの	85	○	***	***	***	***	***	良
		その他のもの	100	—	—	—	—	—	—	—
	測定点2	金属製・陶磁器製 ・ガラス製のもの	85	○	***	***	***	***	***	良
		その他のもの	100	—	—	—	—	—	—	—
	測定点3	金属製・陶磁器製 ・ガラス製のもの	85	○	***	***	***	***	***	良
		その他のもの	100	—	—	—	—	—	—	—
4 人が容易にふれる 恐れのない部分	測定点1	100	○	***	***	***	***	***	良	
	測定点2	100	○	***	***	***	***	***	良	
	測定点3	100	○	***	***	***	***	***	良	
7 使用中に人が操作する取手			—	—	—	—	—	—	—	
8 造資材に接する 又は近接する 部分	測定点1	90	○	***	***	***	***	***	良	
	測定点2	90	○	***	***	***	***	***	良	
	測定点3	90	○	***	***	***	***	***	良	
11 ランプ口金	①	***	○	***	***	***	***	***	良	
	②	—	—	—	—	—	—	—	—	
	③	—	—	—	—	—	—	—	—	
12 ランプソケット (絶縁物部)	①	***	○	***	***	***	***	***	良	
	②	—	—	—	—	—	—	—	—	
	③	—	—	—	—	—	—	—	—	
13 屋内配線の分岐点	60	○	***	***	***	***	***	***	良	
14 屋内配線の接続端子(端子近傍)	90	○	***	***	***	***	***	***	良	
15 制御装置巻線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
16 変圧器巻線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
17 整流体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
18 電解コンデンサ※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
19 フィルムコンデンサ※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
20 ランプ製造業者 が指定した 測定点※1	①	***	○	***	***	***	***	***	良	
	②	***	○	***	***	***	***	***	良	
	③	***	○	***	***	***	***	***	良	

(試験成績書 2 枚目)

試験条件 (通常/傾斜状態, 複合点灯状態)			通常状態(水平天井取付)						判定
			複合点灯状態:						
電 圧			1.10倍		-		-		
			110.0 V		- V		- V		
器具入力電流(送り電流を差し引いた値)			*** A		- A		- A		
消 費 電 力			*** W		- W		- W		
測定箇所	温度限度 (℃)	適用	***℃	30.0℃	-℃	30.0℃	-℃	30.0℃	
			測定値	換算値	測定値	換算値	測定値	換算値	
1 人が容易にふれる 恐れのある部分	測定点1	金属製・陶磁器製 ・ガラス製のもの	85	—	—	—	—	—	—
		その他のもの	100	—	—	—	—	—	—
	測定点2	金属製・陶磁器製 ・ガラス製のもの	85	—	—	—	—	—	—
		その他のもの	100	—	—	—	—	—	—
	測定点3	金属製・陶磁器製 ・ガラス製のもの	85	—	—	—	—	—	—
		その他のもの	100	—	—	—	—	—	—
4 人が容易にふれる 恐れのない部分	測定点1	100	—	—	—	—	—	—	
	測定点2	100	—	—	—	—	—	—	
	測定点3	100	—	—	—	—	—	—	
7 使用中に人が操作する取手			—	—	—	—	—	—	
8 造資材に接する 又は近接する 部分	測定点1	90	—	—	—	—	—	—	
	測定点2	90	—	—	—	—	—	—	
	測定点3	90	—	—	—	—	—	—	
11 ランプ口金	①	—	—	—	—	—	—	—	
	②	—	—	—	—	—	—	—	
	③	—	—	—	—	—	—	—	
12 ランプソケット (絶縁物部)	①	—	—	—	—	—	—	—	
	②	—	—	—	—	—	—	—	
	③	—	—	—	—	—	—	—	
13 屋内配線の分岐点	60	—	—	—	—	—	—	—	
14 屋内配線の接続端子(端子近傍)	90	—	—	—	—	—	—	—	
15 制御装置巻線	—	—	—	—	—	—	—	—	
16 変圧器巻線	—	—	—	—	—	—	—	—	
17 整流体	—	—	—	—	—	—	—	—	
18 電解コンデンサ※1	—	—	—	—	—	—	—	—	
19 フィルムコンデンサ※1	—	—	—	—	—	—	—	—	
20 ランプ製造業者 が指定した 測定点※1	①	***	○	***	***	—	—	—	良
	②	***	○	***	***	—	—	—	良
	③	***	○	***	***	—	—	—	良



## h) 電解コンデンサの温度限度の記入方法について

器具型番: *****)*****)				試験日: 2018年**月**日						
試験条件 (通常/傾斜状態, 複合点灯状態)			傾斜状態(傾斜角度: 55°)						判定	
			複合点灯状態:							
電圧			0.94倍		1.0倍		1.06倍			
			94.0	V	100.0	V	106.0	V		
器具入力電流(送り電流を差し引いた値)			0.12	A	0.12	A	0.12	A		
消費電力			8.5		8.5		8.5			
測定箇所			温度限度 (°C)		適用					
			29.0 °C	30.0 °C	29.5 °C	30.0 °C	30.0 °C	30.0 °C		
			測定値	換算値	測定値	換算値	測定値	換算値		
18	電解コンデンサ※1	87	○	80.0	81.0	80.0	80.5	80.0	80.0	良
電解コンデンサの温度限度			設計寿命(L): 40,000 時間		仕様書記載の最高使用温度(T): 105 °C					
			仕様書記載の最高使用温度での寿命(L <sub>0</sub> ): 12,000 時間		T <sub>0</sub> : 87.6 °C					
注※1: 仕様書等を添付										

電解コンデンサの温度限度は、温度試験成績書2ページ目測定値一覧の下部 ※1により求めた温度限度が No.18 電解コンデンサの温度限度値記入欄に記入される。

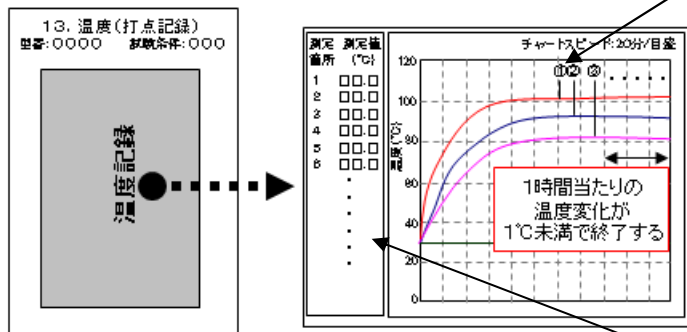
例) L (設計寿命) =40,000 時間, T (仕様書記載の最高使用温度) =105°C,  
L<sub>0</sub> (仕様書記載の最高使用温度での寿命) =12,000 時間の場合,  
※1 No.18 電解コンデンサの温度限度  
算出式:  $L=L_0 \times 2^{(T-T_0)/10}$  より, 温度限度: 周囲温度+自己温度上昇 (T<sub>0</sub>) °Cを算出  
設計寿命 (L) 40,000 時間, 仕様書記載の最高使用温度 (T) 105 °C,  
仕様書記載の最高使用温度での寿命 (L<sub>0</sub>) 12,000 時間  
 $T_0=T-10 \times \{\log(L/L_0)\} / \log 2 = 105 - 10 \times \{\log(40,000/12,000)\} / \log 2 = \underline{87}$  °C  
注) 上記内容を証明する電解コンデンサの仕様書等を添付すること。

図 11—電解コンデンサの温度限度の記入方法

## 2.3.4 温度(通常動作)試験結果(レコーダー記録)

- 印字されたもの又はカラーコピー若しくはカラー印刷のパソコン出力とし A4 サイズにまとめること (2枚に亘っても可)。  
測定記録は明瞭に見えること (インク, コピーが薄く結果を確認できないものは不可)。
- 試験成績書の測定箇所の番号を引き出すこと。
- 各測定箇所の測定値及び 30.0°C換算値の表を記載すること。
- 器具の型番, 時間目盛 (1時間幅) 及び温度目盛を記入すること。
- 1時間の温度変化が 1°C未満であり, 安定状態であることが読み取れるようにすること。

例1 パソコン出力の場合

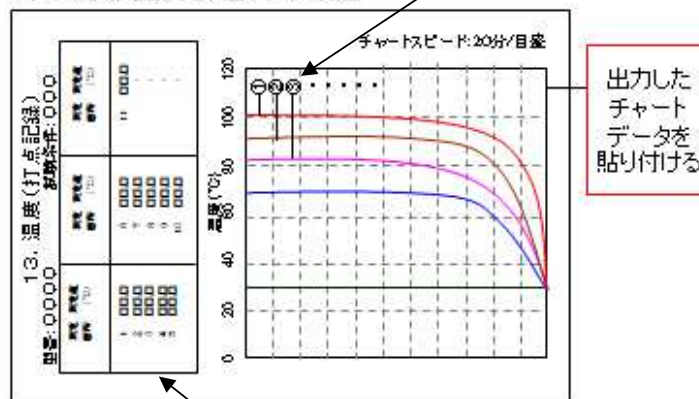


測定箇所の番号を引き出すこと

30°C換算値も記載すること

図 12—温度（通常動作）試験結果 例 1

例2 打点記録計出力の場合



測定箇所の番号を引き出すこと

測定値及び30.0°C換算値を記載

図 13—温度（通常動作）試験結果 例 2

例3 チャートデータがA4用紙に収まらない場合  
温度が安定した部分のみとし、A4台紙に貼り付けること。

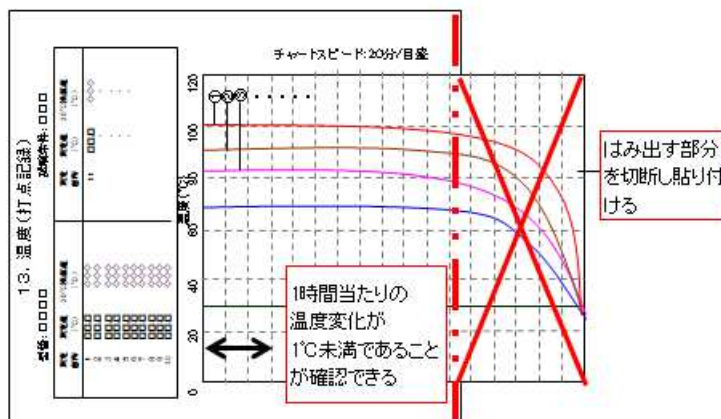


図 14—温度（通常動作）試験結果 例 3

### 2.3.5 巻線温度測定結果(グラフ)

抵抗法により巻線温度を算出した場合は、次のように記載すること。

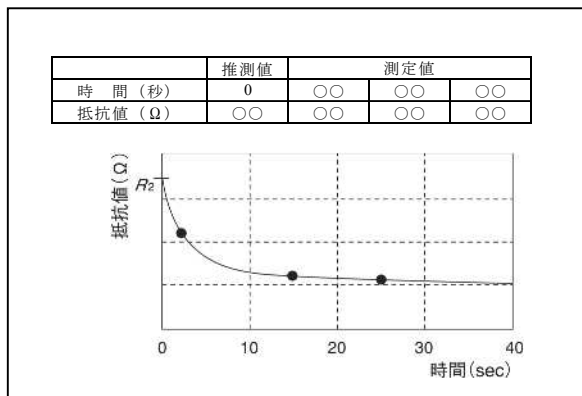


図 15—巻線温度測定結果(グラフ)

### 2.3.6 電子回路ブロックの部品, ランプの仕様書

- 電解コンデンサの仕様書(温度限度値が適切か判断できる場合はカタログでも可)。
- フィルムコンデンサの仕様書(温度限度値が適切か判断できる場合はカタログでも可)。
- 回路内蔵ランプの仕様書(部品メーカーが別途温度限度値を提示したのもでも可)。

## 2.4 器具図面

主要部品一覧表, 器具図面, 表示ラベル一覧表及び表示ラベル貼付け位置図で構成され, 器具の仕様を明確にする。

### 2.4.1 主要部品一覧表

様式 10

- 器具を構成する主要部品を記載する。

- S形埋込み形器具の型式区分が判断できること。  
例) 光源, 安定器, 変圧器, 制御ユニット, 本体, 取付金具, 取付板, 枠, 反射板, パネル, カバー等
- 特定電気用品登録部品及び準じる部品を記載する。  
例) ソケット, 端子台等
- 付属部品を記載する。  
例) 電源保護チューブ, 取扱説明書等

- 番号を記載する。

図面の部品から番号を引き出し, 主要部品一覧表の番号と対応させる。

- 部品名を記載する。

部品の名称を記入する。

- 個数を記載する。

使用されている個数を記入する。

- 材質を記載する。

部品の材質を記入する。

事業者名		品名(型番)		
主要部品一覧表				
番号	部品名	個数	材質	備考
1				
2				
3				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				
■				

図 16—主要部品一覧表

## f) 備考欄に記入する項目

- 1) 特定電気用品登録部品の認可番号（証明書番号）
- 2) 電源保護チューブの耐熱温度（必要な場合は、電気用品認可番号）、厚み
- 3) 塗装仕様等の表面処理状態
- 4) 安定器の保護機能付の有無

## 2.4.2 器具図面

## a) 器具組立図

図面のサイズは、A4 又は A3 とする。

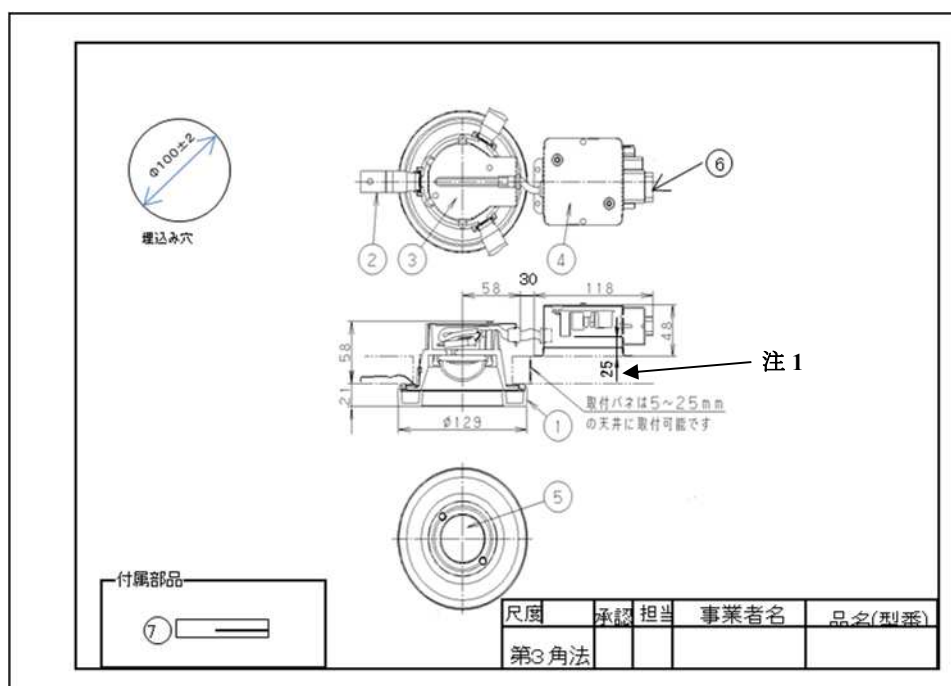
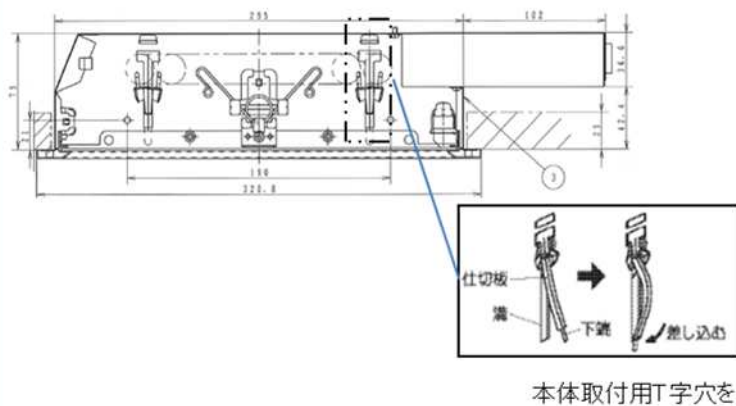


図 17—器具組立図

- 1) S形埋込み形器具の型式区分が判断できることが目的であるため、不要な情報は記載しない。
- 2) 器具の形状が解るようにする。
- 3) 本体と安定器、制御装置の接続されている配線長及びコネクタの有無。
- 4) 造営材と電子部品までの距離を記載、その場合、取付可能天井厚の最大値の距離を記載する。(注1)
- 5) SB形の場合、断熱材侵入防止構造(図18参照)。

SB形器具の場合の本体内への断熱材侵入防止構造について、組立図面で理解が困難な場合は、構成が分かるようにすること。

### 例1



### 例2

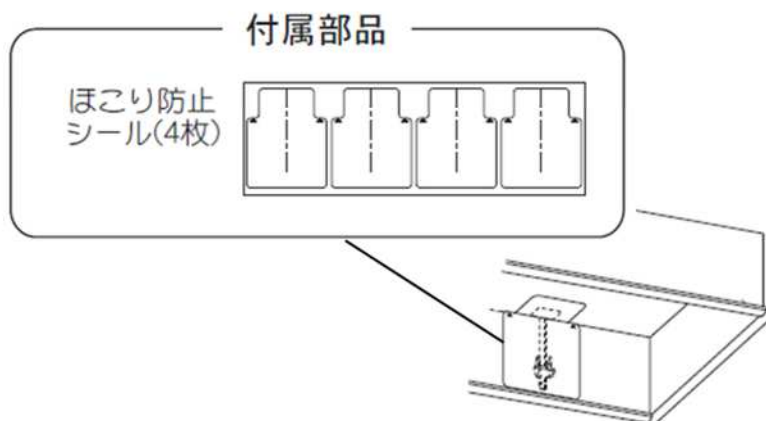


図18-SB形器具の断熱材侵入防止構造の図示例



- 6) 特定電気用品登録部品及び準じる部品
- 7) LED 光源器具の光源の交換の可否
- 8) 付属される部品
- 9) 部品の部番
- 10) 埋込み穴寸法
- 11) 取付可能な天井厚み
- 12) 別置の適合電源の場合、組み合わされる電源の図面を添付する。また、電源が複数ある場合は、最も温度条件の悪い組合せのものとする。
- 13) 温度試験の判定に対して判断できること。

例) 下面パネルの位置関係

パネル付の場合はパネル位置が明確に分かるように枠下面からの距離を記入すること。  
また、器具下面と枠が近接している場合は拡大し記載すること。

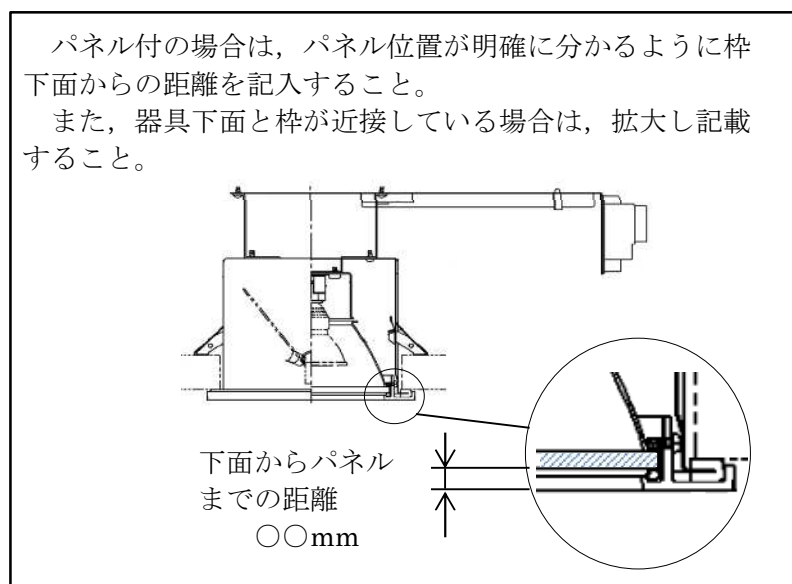


図 19—下面パネルの位置関係の図示例

2.4.3 表示ラベル一覧表 様式 11-1

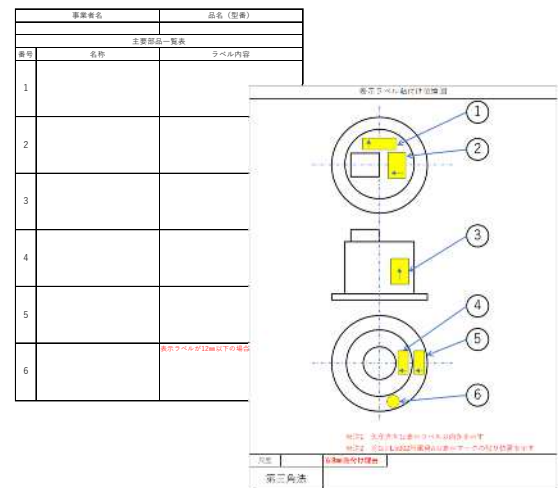
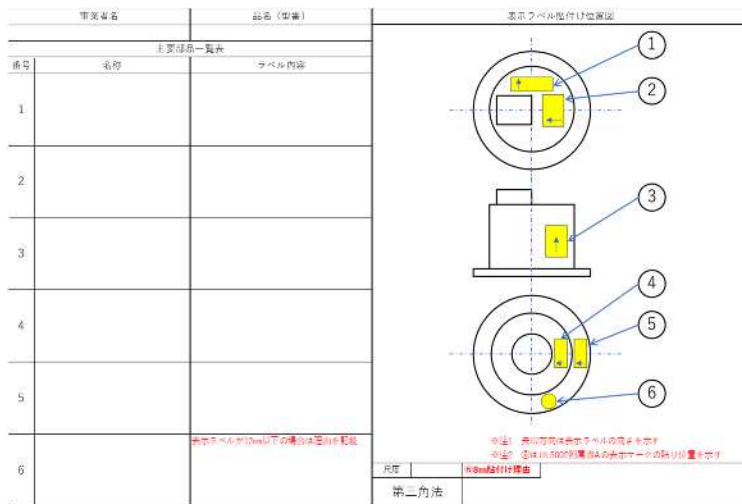


図 20—表示ラベル一覧表（A4 サイズ）

図 21—表示ラベル一覧表（A4 分割版）

a) 名称

器具に貼り付けられているラベルの名称を記入する。

例) 器具銘板, W 数ラベル, 注意ラベル, 表示ラベル等

b) 表示ラベルの内容

貼り付けているラベルの現物, ラベルの内容が分かるラベル図面を貼り付け, 記載する。

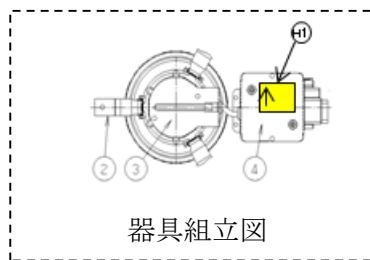
c) 表示ラベル貼付け位置図

1) ラベルが器具のどの位置に貼り付けられているか判断できること。

2) 表示ラベル一覧表と対応した番号を全て付けること。貼付け位置図が小さく記載困難な場合は一覧表と分けて提出も可とする。また, JIL 5002 (附属書 A) の表示マークが 12 mm 以下の場合には理由を記載する。

3) 器具図面と兼ねることも可とする。

例) 下図のように器具図面に部品番号とは異なる番号 (H1, H2...) を引き出し, 表示ラベル一覧表を作成する。ただし, 表示ラベル一覧表は必ず別に添付すること。



事業者名		品名(型番)
表示ラベル一覧表		
番号	名称	ラベル内容
H1		
H2		
H3		
H4		
H5		

様式 11-2

図 22—表示ラベル貼付け位置図を組立図と流用する場合

## 2.5 取扱説明書（施工説明書も含む）

- a) JIL 5002 の 14（使用上の注意事項）に適合していることを図 23 の内容に照らし合わせ確認し、✓欄に“✓”をリストから選択（対象外の項目は“－”を選択）すると同時に、取扱説明書にマーキングを施すこと（図 24 参照）。
- b) 温度試験に関わる特記事項が必要な場合は必ず記載し、実施した温度試験の条件と合致しているか確認すること。

様式12

事業者名		品名（型番）
<b>14.2 取扱説明書に記載する事項</b>		
<b>14.2.1 施工上の注意</b>		✓
a)	器具の取付方法。	
b)	住宅以外の断熱施工天井でM形器具を使用する場合の断熱材などと隔離する施工方法。	
c)	使用場所の周囲温度の制限。	
d)	普通形照明器具（JIS C 8105-1の1.2.3参照）の場合は、屋外又は湿気・水気の多い場所で使用禁止の旨。	
e)	器具に接続できる屋内配線の電線の種類、接続方法（送り配線を含む）及び耐熱性チューブを使用する場合の注意事項。	
f)	屋内配線の電線が本体に接触してはならない旨。	
g)	送り配線の接続端子を有する場合は、その接続端子が照明器具専用である旨と最大送り容量。	
h)	SG1形及びSB形器具の場合は、SG1形、SB形のそれぞれ適合する断熱施工の方法及び断熱材の種類。	
i)	SG形器具の場合は、断熱施工工法の適合の可否及び施工できない地域区分と住宅の種類。	
j)	器具の取付部分を除く外郭が、天井内の造営物、ダクトなどの設備に触れないよう施工する旨。	
k)	ドアの開閉範囲、家具などの可燃物に近づけないように施工する必要がある場合はその表示と、照明面までの近接限度を規定する必要がある場合はその表示。	
l)	取付可能な天井材の厚さの範囲、埋込穴の寸法及び寸法公差。	
m)	傾斜天井に取り付け可能な器具の場合、取付可能な傾斜角度の範囲と、器具の取付方法に制約がある場合はその旨。	
n)	二つのIP等級をもつ器具の場合は、部分ごとに適用したIPコードの表示。	
o)	器具の灯具部、制御装置など、施工時に向きを制約する必要がある場合にはその旨	
p)	高天井用器具である場合にはその旨。	
q)	その他、器具の取付条件や制約がある場合にはその旨。	
<b>14.2.2 使用上、保守上の注意</b>		✓
a)	可動調節ができるものは、その方法。	
b)	ランプ交換可能な場合、指定以外のランプの使用禁止の旨。	
c)	LED光源の場合、光源の寿命及び交換の可否について。	
d)	JIS C 8105-3の9.2（保守に関する指示）による推奨する保守方法。	

図 23－取扱説明書に記載する事項一覧




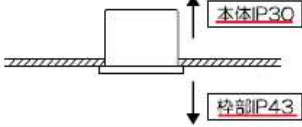


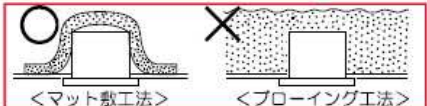
 <b>警告</b>		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 <b>厳守</b>	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 <b>禁止</b>	この器具は天井埋込専用器具です。壁などには取付けできません。傾斜天井に取付ける場合は55°までにしてください。→器具の落下によるけがの原因になります。
 <b>禁止</b>	この器具は一般住宅用防雨・防湿型です。業務用浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。→火災・感電の原因になります。	 <b>分解禁止</b>	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	この器具は設置する天井内部(本体側)が一般屋内と同等の雰囲気(湿度)を想定した、防雨・防湿型ダウンライトです。 天井内部が湿気が多い場所・水気のかかる場所・結露の恐れがある場所には施工しないでください。→火災・感電の原因になります。	 <b>禁止</b>	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。
			器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。
	この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。→早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。	 <b>アース工事</b>	器具の直下は高温になっています。 <u>ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。</u> →被照射物の焼損による火災の原因になります。
(一社)日本照明工業会・断熱遮音施工用埋込み形照明器具SG1形適合品です。マット敷工法(建築用断熱材JIS A 9521)で施工された天井に使用することができます。 フローイング工法(吹込み用繊維質断熱材JIS A 9523)および特殊な断熱施工された天井には使用しないでください。→火災の原因になります。 外郭が天井内の造営物やダクトなどの設備に触れないように施工してください。	 <b>厳守</b>	器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、 <u>ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。</u> →照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。	
		表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。	
			異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

図 24-マーキング例